

平成 26 年度第 11 回尼崎市公共施設マネジメント市民会議に係る議事録

日 時：平成 27 年 1 月 28 日（水）18 時 00 分～19 時 50 分

場 所：本庁舎北館 4 階 4 - 1 会議室

出席者：尼崎市公共施設マネジメント市民委員（別表のとおり）

（説明者）教育委員会事務局管理部学校計画担当 西野課長

（事務局）資産統括局資産経営部 土元部長、

資産経営部保全担当 西田課長、松田課長補佐、玉木課長補佐、鹿島、

（記録）岩佐

傍聴者：なし

次 第：「第 11 回 尼崎市公共施設マネジメント市民会議 次第」のとおり

議 事：（公共施設に係る議事要旨は以下のとおり）

1 カテゴリ（施設用途）20 小学校について

学校計画担当（以下「学校計画」）（「尼崎市立小・中学校適正規模・適正配置推進計画（平成 23 年 2 月改訂）」について説明）

事務局（対象施設の概要、現況分析、評価結果の概要について説明【資料 1 - 1】）

(1) 質疑応答

委員 1 学級の児童数は何人か。

学校計画 小学 1 年～4 年生までは 35 人学級、5 年生から中学 3 年生までは 40 人学級である。

委員 幼稚園には特設学級があったが、小、中学校にはあるのか。

学校計画 特別支援学級というものがある。児童・生徒の障害の種類（肢体、知的等）により 2、3 学級ある学校もある。

委員 小学校に通うのに、通学時間や距離に決まりはあるのか。

学校計画 これまでは、通学距離については、小学校でおおむね 4 km 以内、中学校ではおおむね 6 km と定められており、これに加えて、つい先ほど公表された国の手引（「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（案）」平成 27 年 1 月 19 日）で、通学時間については、おおむね 1 時間以内が目安とされている。

委員 耐震未対応の学校がいくつかあるようだが、これらも耐震化するのか。

学校計画 今回の施設のデータは 25 年度のものを採用しているため、「未対応」という記載になっているが、27 年度末までに統合関係校以外の学校は全て耐震化することを目標として取組を進めている。

委員 標高が低い場所にある学校があるが、津波対策はどのように考えているのか。

学校計画 津波からの避難にあたっては、3 階以上の階に避難することを基本としているが、実際には、津波到達までに時間的余裕がある場合、3 階でじっとしているよりも、標高が高く、津波が到達しない場所（北部）まで避難することの方が現実的だと考えている。ただし、津波の到達時間等に影響される部分であるので、学校ごとに 3 階以上の階に避難するもの、あるいは北部に避難するものという区分をしているものではない。

委員 西宮市においては、マンション等の住宅開発の増加により、学校規模の過大化な

どが問題となっており、一部の地区では、マンション等の住宅開発に対して延期や中止・計画の変更などを求める指導をしていると聞くが、本市には、そのような地区はないのか。

学校計画 現在、住宅開発が進んでいるJR尼崎駅周辺の潮小学校においては、児童数の増があり、塚口駅周辺では、今後大規模に開発される予定があるので、それに伴う生徒・児童数増への対応は必要だと考えている。

委員 学校を統合した跡地に住宅開発をして、児童数が増えて学校が必要になるということは考えられるのではないかと。西宮市のような住宅開発に対する指導や規制は考えていないのか。

事務局 本市においては、今後、学校も含めた公共施設等の跡地について、良好な住宅地として開発し、少しでも定住・転入につなげていきたいと考えているところであり、住宅開発に対する規制ということは考えていない。しかしながら、委員ご指摘のこともあるので、配置バランス等を見ながら対応を検討していく必要があると考えている。

委員 園田東小学校は、6学年で6学級しかないが、統合しないのか。

学校計画 園田東小学校は、戸ノ内地区の児童が通う小学校であり、ここがなくなれば、園和または小園小学校に通うことになり、児童の足で通うには、困難であるため、現段階で統合は考えていない。小規模校だからという理由だけでは統合ができない、典型的な事例であると考えている。

(2) 意見聴取

委員 教育にはある程度の人数があったほうがよいと思うので、学校の統廃合は、あってよいのではないかと考えている。子どもたち同士の仲間づくりの場や、空調のある学校での統合などにより物理的な環境も含めて教育環境の向上につながるようにしてほしい。

2 カテゴリ（施設用途）21 中学校について

事務局 （対象施設の概要、現況分析、評価結果の概要について説明【資料2-1】）

(1) 質疑応答

委員 休日に学校の校庭等は地域に開放しているのか。

学校計画 クラブ活動などで利用しない限りは、校庭や体育館は、学校開放として地域の方にご利用いただいている。

委員 3つ聞きたい。中学校には借地がいくつかあるが、これらは施設のコストとして支出しているのか。そのコストに関連するが、学校ごとに施設に係るコストのばらつきが大きいのはなぜか。また、耐震未対応の学校があるが、これらは27年度末までに対応する予定なのか。

学校計画 耐震対応については、27年度末までに終わらせる予定である。

事務局 借地に係る費用及び学校間のコストのばらつきについては、確認する。

委員 施設の収入について、中学校では多いが、小学校では1校だけである。何の収入なのか。

事務局 自動車通勤する職員の駐車に伴う収入である。

(2) 意見聴取

委員 学校給食を始めれば、転入してくる世帯が増えるのではないかと思う。

委員 校区の関係で、同じ小学校の児童が別々の中学校に通うことがあることはどうかと思う。小学校と中学校の連携が大事であると思うので、同じ小学校に通う児童が同じ中学校に進めるように校区を考えてほしい。

委員 学校の統合については、進めていただきたいと思うが、それによって財源ができれば、子どもたちの教育環境の向上につかっていただきたいと思う。

3 環境衛生施設（弥生ヶ丘斎場）について

事務局（対象施設の概要について説明【資料3-1】）

(1) 質疑応答

委員 火葬場が混み合い、1週間以上も火葬を待つ、いわゆる火葬待ちが発生していると聞くと、本市ではそうしたことはないのか。

事務局 時期によっては、お亡くなりになる人が多く、込み合うことがあるかもしれないが、本市においては、平成15年に施設を更新し、施設の能力を高めるなどに努めており、極力お待ちいただくことがないように取り組んでいる。

委員 火葬している間に飲食する場所はあるのか。また、その場所がある場合は、施設の使用料をとらないのか。

事務局 確認する。

委員 24年度から25年度にかけて、施設の使用料収入が減る一方で、指定管理料は増加しているが、これはなぜか。

事務局 指定管理料の増については、23年度から25年度にかけて人件費があがったことが原因であり、24年度から25年度については、これに加えて燃料費の上昇に伴うものである。

委員 指定管理料について、燃料費の上昇に伴い増額することは理解できるが、職員人件費の上昇に伴い増額するのはなぜか。

事務局 確認する。

委員 収入と支出について、市の負担が大きいように感じるが、他都市でも同様なのか。

事務局 施設の使用料については、建設コストなどから算出しているものであるが、他都市の状況は把握できていない。

(2) 意見聴取

委員 市内に唯一の施設であるので、存続することになると思うが、そうであればこそ、収支のバランスがよくなるように、もう少し使用料を上げればどうか。

4 文化財保存施設（田能資料館）について

事務局（対象施設の概要について説明【資料3-1】）

(1) 質疑応答

委員 どのようなイベントを行っているのか。また、その広報はどのようにしているのか。

事務局 古代米や弥生土器をつくろうという体験学習会などが行われており、小学生の

校外学習の場としても利用されている。なお、イベントの内容については、ホームページに掲載されている。

委員 施設の収入は自動販売機の設置によるものか。

事務局 確認する。

(2) 意見聴取

委員 市内にある近松記念館や尼崎城（跡）などとセットでPRして、利用者がもっと増えるようにしてほしい。

5 保健関連施設（健康の家）について

事務局 （対象施設の概要について説明【資料3-1】）

当初、施設評価の対象としていたものであるが、利用者が年々減少しており、また今後も増加が見込めないことから、廃止するという方針が決まったので、対象外とすることをご報告する。

6 カテゴリ（施設用途）15（福社会館）～17（図書館）での意見等について

事務局 （第8回での意見の内容等について説明。意見等なし。）

7 その他

(1) 事務局からのあいさつ

11回にわたり、忙しい時間を割いて、会議にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。

この会議の中では、施設の見直しに取り組む我々にとって、背中を押していただけるような貴重なご意見をたくさんいただいた。

こうした施設の見直しについては、我々の世代はもちろんのこと、将来の世代にとっても重要な取組であると考えているので、皆さんからいただいたご意見については、十分検討させていただき、今後の取組の参考にしたいと考えている。

また、こうしたご意見をいただく場は非常に有意義だと考えているので、来年度についても、どのような形となるかは検討中であるが、市民の皆さんのご意見を伺う場を設けさせていただきたいと考えている。

ついでには、各委員におかれても引き続き、市報やホームページなどをご覧いただき、市政にご関心を寄せていただくとともに、次回、ご意見を伺う場を設けさせていただく際には、ぜひ貴重なご意見を寄せていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたい。

(2) 司会者からのあいさつ

この会議への参加を通して、これまでただ目に映っていた施設が、違った視点で見えるようになった。

今後も、こうした今までとは違った感覚で施設を利用させていただこうと思う。

市におかれては、我々の意見を少しでも採り入れていただき、この会議を意義あるものにしていただければ幸いである。

以 上

別 表（尼崎市公共施設マネジメント市民会議委員出席一覧）

| 役 職 等 | 氏 名（ふりがな） | 出 欠 |
|---------------|------------------|-----|
| 公募市民 | 乾 信行（いぬい のぶゆき） | 出 |
| 公募市民 | 大森 潤子（おおもり じゅんこ） | 出 |
| 公募市民 | 鬼塚 康雄（おにつか やすお） | 出 |
| 公募市民 | 川染 信二（かわぞめ しんじ） | 欠 |
| 公募市民 （司 会） | 京田 弘幸（きょうだ ひろゆき） | 出 |
| 公募市民 | 速水 麻沙美（はやみ まさみ） | 出 |
| 公募市民 | 藤原 成宏（ふじわら しげひろ） | 出 |
| 公募市民 | 松本 五郎（まつもと ごろう） | 出 |